

## 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

### 設立趣旨

「最後の清流」と呼ばれる四万十川は、これまで四万十市の礎として地域の文化を創り上げてきました。四万十川の恵みにより農林漁業、観光業が営まれ、市民生活を支えるとともに憩いの空間として親しまれています。

今日、四万十市に暮らす私たちは、アユやアカメ、テナガエビ、スジアオノリなどを育み、ヤナギ林と菜の花が生み出す美しい景観を誇る四万十川、ツル類をはじめ野鳥が舞う中筋川流域など、多様な生物や景観を有する四万十川を軸とした流域を守り、将来に引き継いでいく必要があります。

このため、多様な主体が連携・協働し、この豊かな生態系を育む自然環境の保全、再生に取り組み、地域資源として農業・観光・教育等に付加価値や新たな魅力を生み出すことが望まれます。これにより、市民がこの地域を誇りに思うとともに、地域の知名度向上や活性化、経済振興等への展開も期待されます。

そこでまずは、多様な主体の連携・協働により、四万十川流域の豊かな自然環境を保全・再生し地域活性化を目指す「四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会」を設立するものです。